

# SLA通信

第52号

〒460-0024  
名古屋市中区正木1-2-8 互助会ビル4F  
(財)シニアルネサンス財団内

## 2011 講演会 開催

### 「介護の名句・禁句」～支え、癒し、共にわかりあえるために～

- ◆ 講師：愛知教育大学教授 増田 樹郎氏
- ◆ 開催日時：2011年11月6日（日） 13:30～15:30
- ◆ 会場：なごやボランティア・NPOセンター研修室
- ◆ 主催：中部シニアライフアドバイザー協会
- ◆ 参加人数：会員26名 一般52名 合計78名



### ～盛会裏に終わる～

今にも雨が降ってきそうな空模様の下で、上記のように2011年講演会が開催されました。

介護は、優しい言葉で相手の心に寄り添いながらすることや、人間の尊厳、命の尊さを感じる事が大切など、病や老いを通して福祉の臨床について、大変理解しやすく、また温かい語調で話され、心にひしひしと伝わるものがありました。

講演会に参加された、介護の現場で活躍中の女性は、「テクニックの介護ではなく、豊かな命のぬくもりを根本にという考え方がズシリとききました」…との感想を述べておられました。

(他にも感想が多く寄せられましたので一部を次ページで紹介いたします)

#### 【講演要旨】

- ・ 介護はポジティブに、決してネガティブにならないように…。
- ・ 話に耳を傾ける。信頼できる聞き手になる。
- ・ 感動的な心の触れ合いが大切など。

介護の具体的な言葉掛けもお聞きしながら、深い感銘を受ける講演会となりました。

皆様のご協力に感謝申し上げます。

#### 増田樹郎先生から

「皆様の介護に寄り添う心が伝わり、元気をいただきました」と 後日、メールを頂きました。



## アンケートにみる参加者の声

- ☆ 先生のがかりやすく、優しい語り方で豊かな心になりました。どんな病気をしても人間として変わりはないこと、人間らしく生きたい、生きていてよかったと思える関係を作るように励みたい。
- ☆ 人と人との関わりがいかにか大切にをより深く学ぶ事が出来ました。
- ☆ 人生にはみんな物語がある・・・目を見て、肩に触れて、話を聞くことが大切。
- ☆ 誰もみな老いでゆく。言葉を大切に、相手の心に寄り添って、人と人との繋がりを大切に、温もりから救える命のある事を実感しています。
- ☆ 基本的な考え方、一つ一つ具体的な例を広範な知識・経験に基づいて分かりやすく話されました。
- ☆ 「死の棘は、先に逝きしものよりも、後に残るものにこそ、深く深く突き刺さる」。少しでも後悔が少なくなるように勉強したい。
- ☆ 温かいことばに心が一杯籠められて、何事にも肯定的にプラスに捉えてと静かに語られました。
- ☆ 老々介護がもっと増えると思います。この現状の中で年を取られた要介護者の尊厳を守りたい。
- ☆ 自分自身がどう生きていけばよいか。どう周りの方々と関わり、温もりのある人間関係を築けば良いのか。自分が温かい人間になることの大切さを学びました。

### ★ 介護している方たちや介護していた方たちから

- ・ 介護の勉強中だから、先生のお話がすんなり入ってききましたが、実習体験の場では、人が足りず、理想が高すぎると感じます。理想に近づくことが「向上」なのでしょうか。それでは、組織からはじき出されてしまいます。只、一人の人間としては、先生のお話は自分の中にしみ込んできました。
- ・ 胸に響きました。介護する人への接し方にごく参考になりました。介護者に寄り添っていきます。
- ・ もっと早くこのような話を聞いていたら苦しみも少なく、もっと穏やかな日々を送れたと思います。
- ・ 介護する人だけではなく、同居人の介護人への労わりが大切。
- ・ 心の未熟さを思い知らされました。日本とスウェーデンの介護に掲げる目標の違い等勉強になった。

## 2011 講演会に参加して (会員より)

古田 志賀子

介護を考えると、「その人はどんなことを大切に生きておられるか」に着眼し、出来ないことを補う介護ではなく、その人らしい生活(QOL)を継続し、生活の中に生きがいを持つ介護が必要であるという講師のお話に体中が熱くなった。

食事、排泄、風呂、就寝の介助に終わるのではなく、自ら着る服を選び、外に連れ出す介護に変わりつつあることに期待した。私もたとえオムツを着用するようになって、外に出て、絵や音楽に触れたい、いや、絶対、出ようと思った。

堀部 玲子

何事も初めての体験という事は新鮮でドキドキするものですね。勝手にわからない。どこまでやって良いのかまだまだ慣れないことばかりという状態で部会の一員としての第一歩でした。準備段階は参加できず、当日のみのお手伝いで申し訳ない気持と、緊張感で一杯でした。会場係ということでしたが、講師の本の販売という仕事を仰せつかり先輩と一緒に金銭の授受と精算も間違いなく出来たことで安堵しました。

講演会は、講師の人柄と、実体験に裏打ちされた内容で、聞く人達の心に響くととてもやさしい講演会でした。介護される人も介護する人も辛さを抱えている。人は、優しくされたい、愛されたいと思っている。お互いに寄り添ってみて本当の言葉が生まれてくるのではないかと、自分のことが出来ないという言葉はつらい。人は、最後まで自分らしく生きたいんだという先生の言葉。これからは相手を思いやる言葉を使わなくてはと思った一日でした。

## 幹事会報告

### 第5回幹事会

開催日 10月27日(金) なごやボランティア・NPOセンター

出席者 8名

報告事項 \* 全国一斉電話相談「シニアの悩み110番」結果報告  
10/4 反省会開催 見学の新会員も参加。  
次回からは新会員も電話相談に参加予定。

\* 研究会・地域部会の活動報告と予定 通信51号に掲載。

\* 計報 8/3 木村秀子さんご逝去。通信に51号で報告。

現時点の会員数 75名

議事内容 \* SLA 通信51号発行

同封資料：110番結果報告・愛岐トンネル散策・パソコン相談会・  
成年後見制度イベント案内、養成講座会計報告(旧会員)

\* 講演会(11/6) 講師謝礼、交通費の件 司会進行 浅野澄子さん

\* 会計から、PT・研究会・交流会等の費用について、協会と個人負担の区分の明確化を要望。

\* PTの進め方・各部会は、活動について事前準備協議を行い、PT会議は、幹事会とリーダー・担当メンバーとの連絡協議を主体とする。

\* トンネル散策・SRクラブから2名参加希望

\* 2012年カレンダー写真応募締め切り。検討して編集進める。

\* 幹事会・PTの会場変更について

### 第6回幹事会

開催日 11月18日(金) なごやボランティア・NPOセンター

出席者 10名

報告事項 \* 東北SLA協会が活動を再開。NPO資格を返上されての再スタートとのことです。

\* 講演会(11/6)について 参加者78名(旧会員15、新会員11、一般52)

\* 各研究会、地域部会活動報告と予定

議事内容 \* 会計

・一般会計と特別会計の支出区分の検討

・SLA会員の講師料 会員全体を対象とした場合のみ講師料を支払うこと

・各研究部会、地域部会の経費について

会員全体が受益となるイベントについては、経費を協会が負担

個別の活動については、各部会の負担とする

・全国SLA協会会議出席の必要経費について

\* 新年会、通信52号の内容などについて



## 成年後見制度研究会 報告

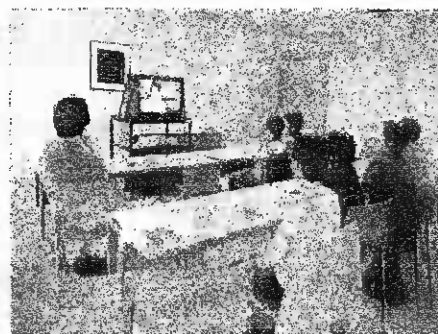
### 成年後見制度 勉強会①

- ・日 時：11月15日（火）10時～12時
- ・場 所：ウイルあいち 会議室1
- ・内 容：「成年後見制度 ～支え合う社会をつくるために～」のDVDを見て、成年後見制度についての理解を深める。

僅か9名の参加でしたが、DVDを視聴した後、時間のある限り思ったことを話し合い実り多い勉強会をもつことができました。

#### メンバーの言葉

- ・分かりやすく編集されていて、引き込まれて見た。
- ・講演や研修会で難しい話を聞くのと違い、映像を見ながらの勉強会は理解しやすかった。
- ・DVDの中に挿入されたドラマの内容が他人事と思えなかった。  
(同居しながら、母親の行動に気づいていない)
- ・近い将来、自分がこの制度を必要とした時、制度についての知識を持っているか 否かは大きい。勉強して備えたい。
- ・後見制度利用時の必要諸経費の問題。
- ・今後勉強する機会をどう見つけるか？(皆さん意欲満々)
- ・尾張東部成年後見センターについて(51号添付資料参照)  
など 時間が足りませんでした。

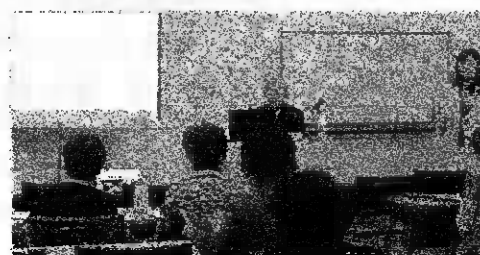
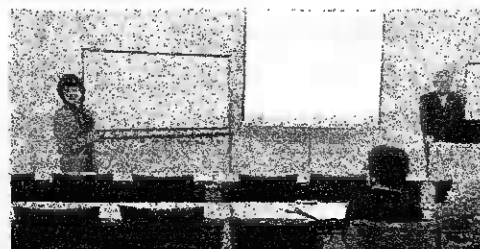


### 成年後見制度 勉強会② (主催・中部SLA協会成年後見制度研究会)

- ・日 時：12月2日（金）10時～12時
- ・場 所：ウイルあいち セミナールーム6
- ・内 容：講義を聞いて、成年後見制度についての理解を深める
- ・講 師：油田弘佑様 (名城法律事務所客員弁護士、NPO法人きずなの会副理事長、他)

現場の弁護士さんから見た体験談や事例を含めて・成年後見制度の基礎知識 ・問題点など限られた時間内で、幅広くご講義をいただき、大変有意義な勉強会となりました。

後見人の不祥事や後見制度の支援信託、代理権などのお話を聞きながら、後見人の責任と高齢社会の財産管理、生活支援、介護問題の深刻さを改めて感じました。(参加者 20名)



## 交流会報告

第4回 SLA のつどい「秋の定光寺・紅葉とトンネル散策」 日時：11月30日

「トンネル散策」に参加して

山下 美佐恵

旧国鉄中央線の愛岐トンネル群を会員、井出勝男さんの案内で歩きました。

(参加者：SLA 会員 15 SR クラブ 2 一般 1 合計 18)

天候に恵まれ思いの外暖かく、定光寺駅から庄内川沿いにスタート地点の3号トンネルに到着、いよいよ出発です。3号、4号、5号、6号と4つのトンネルを歩きました。6号トンネルが一番長く 333m で往復約 700m。トンネル内は真っ暗で懐中電灯が役に立ちました。

6号トンネルまでの道中、竹林の中のあずま家、トンネルの軌道敷にあった残存物の展示、山から水を引いて水車が静かに回転していたり、また、愛知県下No.1の 三四五(ミヨイ)のもみじをみて感動したり、それぞれ参加者、和気藹々の雰囲気です。11月23日から27日までの一般の特別公開では、約1万5000人、平均一日3000人がトンネルをくぐり、色づき始めたもみじを愛でながらの5日間であったそうです。SLAのつどい30日は、もみじが真っ赤に色づいて最高に美しい時期であったような気が致します。

錦秋の日光を受けながらのお弁当は一段と美味しく感じました。整備作業を進められたトンネル群保存再生委員会の皆様のご苦勞のお陰で、41年間うっそうと藪の中に隠れ、眠って忘れられていた産業遺産が甦り、遺産群と自然が共生でき、人々が感動できる場所が出来たことに感謝致します。



## 研修会報告

10月27日(木) ウイルあいち「レストラン ウイル」にて、今後の活動について話し合いをしました。  
今後の予定

◆24年5月下旬に海外(韓国)研修計画

- ・事前研修会第1回は「食べて知る韓国」を12月14日韓国料理店「高矢禮 火」にて実施しました。
- ・今後「韓国文化」「ハングル語」などの研修会を予定しています。海外研修に参加される人だけでなく、旅行には行けないけれど韓国に興味のある方は是非出席ください。

◆3月初旬 全体研修会

## SLA PC 研究会 報告

### 「パソコン入門講座」「パソコンなんでも相談」の会 開講報告

日時：12月2日(金)13:30~15:30 会場：ウィルあいち セミナールーム3

PC 研究会が開講した会員対象のパソコン講習会に、11名の会員が受講し、6名のメンバーが対応しました。はじめての試みで、手探りの開講でしたが、気心のしれた会員同士なので、和気あいあいとした雰囲気の中で内容のある講習会になりました。

主な講習内容は下記の通りです。OSとアプリは参加者が使用するものに対応しました。

- ・ワードの起動と終了・文字の入力
- ・文書の編集・保存
- ・インデントの使い方
- ・写真や図形の挿入・編集
- ・ちらしの作り方
- ・言語バーの使い方
- ・ショートカットキーの利用方法
- ・PCへの写真の取込 DVD-Rへ転送する
- ・デスクトップの背景とスクリーンセーバーの設定
- ・USBメモリーの使い方(ファイルの保存 接続・切断)
- ・メールへ写真を添付 添付写真のサイズ変更
- ・メールの書式(リッチテキストとテキスト形式)
- ・PP プレゼンテーション作り方
- ・PP アニメーション設定 画面設定変更



PC 研究会では、今後も順次講習会を開講する予定です。ぜひ、お気軽にご参加ください。

PC 研究会は協会ホームページの運営を担当しています。随時更新中です。

会員の皆様の SLA 活動にお役立てください。 <http://sky.geocities.jp/chubusla/>

## 電話相談研究会 報告

来年3月の全国一斉電話相談にむけての研修会を次のように計画しました。

日時：3月13日(火) 9時30分~12時

場所：なごやボランティア・NPOセンター 会議室

※研究会メンバーの皆様には、前回研修日を3月6日とお伝えしましたが、上記日時に変更しましたので、ご了承ください



## 地域部会報告

### 名南部会

10月29日（土）、秋晴れの清々しい天気にも恵まれ、第14回、名南地域部会を八事「かに本家」にて開催しました。

今回は養成講座後の最初の部会となりますが、新会員7名の参加があり、合計14名と盛況な集いとなりました。

はじめに部会長から名南部会の活動状況が紹介された後、各会員の自己紹介、活動状況など紹介され、引き続き美味しい「かに料理」に舌鼓を打ちながらの楽しい親睦会となりました。

また、新会員から次のメッセージも届きました。（事務局）

#### （メッセージ）

八事のかに本家で、名南部会を開催しました。

おいしい食事を摂りながら、なごやかな雰囲気の中で、親睦を深めました。

その後、興正寺で、重要文化財の五重塔を見、隣り合わせの中京大学に行きました。

中京大学は、学園祭の真っただ中で、私たちは、若い人からエネルギーを頂き、今後の活動への意欲を高めました。



### 名東部会

10月23日（日）日進市口論義運動公園に 朝見、加藤、黒須、山東、中島、山下の6名が集いました。

生涯スポーツ振興の場として整備されたこの公園は、緑の木々と一面に張り巡らされた芝生で心地よさはいまでもありませんでしたが、少々不便で、バス利用の山下さんは、バス停から歩けど歩けど施設は見えず・お気の毒でした。（リニモが一番便利かな？）

施設内のcafé「棕の木」で食事をしながら、まずは自己紹介。その後は気のおもむくままの話し合い。山東さんが地域の役職になられることから、地域との連携をなにか考えていくことができないか情報を頂くようにお願いしました。

山下さんがボール（ストック）を持ってきてくださいましたので、女性4名が運動公園の片隅で挑戦しました。胸をはり、ピンとした姿勢で歩いて気分良かったです。

次回の部会は、気候のよい5月頃実施する予定です。

## 三河部会

11月9日、小春日和の暖かい日差しの下、名鉄新安城駅前にある鮮彩旬菜「いこい」に於いて、三河部会の初会合が催されました。

部会員8名の内、上野さん、柴田さん、中村さん、中山の4名が参加して、お昼の定食といつても三段重の豪華な食事を頂きながら、二時間以上も夫々の夢を語り合いました。

皆さんの、足下を見つめながらしっかりと歩んでおられるお話をお聞きして、心底感服いたしました。

この会場を設営して頂いた鈴木八重子さんが交通事故にあわれて参加できなかったこと、大変残念でした。早く快癒されて社会復帰されんことを祈念しています。

部会員は広く三河や浜松に住んでおられるので、順次各地域で部会を開催する事になりました。

次回は2月後半以降に、出来るだけ多くの方が参加できる日を選んで、豊川市の中村さんをお願いする事になりました。



## 名北部会

11月14日最上級のお天気に恵まれて「名北部会」今年度初めての行事「花フェスタ記念公園に薔薇をみにいこう！」は開催されました。

あいにく「都合が悪く欠席」が続出。総勢4名での出発となりました。

けれど日ごろ多忙を極めるこの4人にとってまさに「命の洗たく」、おいしい空気と美しいバラの花に（薔薇の花は少し盛りを過ぎてはいましたが）すっかり癒された一日となりました。

最後に名北部会のメンバーであり、花フェスタのレストランで仕事をされている加藤昂治さんとも交流でき2012年「岐阜清流国体」のゆるキャラ「ミナモ」と一緒に記念撮影というおまけもついて「名北部会美女4人」は楽しい楽しい一日を過ごしました。



## 尾張部会

24年3月 今年新装なった名古屋市科学館の見学を予定しています。

団体としての人数が最小20名必要ですので、他部会の皆様の参加を是非お願いいたします。

詳細は 2月発行の通信53号にて、お知らせします。



## 今後の活動予定

### ① 2012 新年会

日 時 : 2012年1月28日(土) 午前11:30 ~ 午後2:30  
場 所 : 名古屋ガーデンパレス(名古屋市中区錦3丁目11-13)  
申込み先 : TEL 090-6573-6434 / FAX 0568-88-2474  
E-Mail : kyoko211@pa2.so-net.ne.jp (加藤恭子)

詳細は別紙「新年会のご案内」をご覧ください。

### ② 2012年電話相談研修会

日 時 : 2012年3月13日(火) 9:30 ~ 12:00 (詳細は2月の通信に掲載)

### ③ 全国一斉電話相談「シニアの悩み110番」

日 時 : 2012年3月24日(土)・25日(日)(予定)

## 2012年 カレンダー-申し込みのご案内

2012年中部SLA協会カレンダーが完成しました。

毎年、中部SLA協会事業の一環としてカレンダーの作成、販売を行っています。会員の皆様からの応募写真をデザイン化し作成いたしました。

会員の皆様方は元より、SLA活動をご理解頂く一端として周囲の方々にもご紹介いただき、ご協力いただきたく、お願いいたします。申し込み方法等は下記のとおりです。

\*申込み・問合せ 090-1231-4792 荒川 (冊数、氏名、電話番号をお知らせください)

\*価格 新年会等で手渡しご希望 1冊 : ¥1,500  
送付ご希望 ¥1,500+¥80(送料)

\*代金は新年会または銀行振り込みでお願いします。

\*振込先 UFJ銀行・笹島支店  
\*口座番号 普通:1411404  
\*口座名 中部シニアライフアドバイザー協会

※広報では会員の皆さんからの情報提供や寄稿をお待ちしています。

次回の発行は2012年2月の予定です。1月20日の幹事会までに原稿をお願いします。

(送付先) E-mail kurosuyukiko@ybb.ne.jp Fax 0561-73-1447

三途川

長坂 朋子

見渡す限りの草原、私は七、八ヶ月の赤子を胸にしづかりと抱きしめて、目の前に音をたてて流れる川を茫然と眺めていた。風は薄い着物を吸い込むように、舞う様に裾がヒラヒラとふき上げられ、川の流れはますます荒れて、ふき上られた水かさは足下まで濡らしている。私は立ちつくして、恐ろしいとか、怖いことはなく、ただ ただ 不安で赤子の身体をしめつける様に抱いて、どうして渡ろうかと、ずっと誰もいない川を見ていました。

周囲の闇の中に、突如うっすらと明りが差し込んで、あわい光の中に、茶室の躰り口のような、薄明かりの中、光と共に全身白衣につつまれた人影、「大丈夫だよ」「大丈夫だよ」と肩に手をかけてくれた人、その声に「アッ先生」言い終わらない内に見えなくなって「ここはどこ」「ここは」探しても声はなく又意識を失い眠りつづけ囁言が続いていたとか。「痛い!痛い!」と目覚めたのは2日後。

「ここはどこ」「どこにいるの?教えて」と、何度も何度も聞き返したとか・・・。体はいくつもの管で縛られていました、輸液、輸血その他諸々。加齢による回復力の遅れ、免疫低下、腹水でパンパンになった腹部、足の浮腫等、家族はもう・・・と肩を落としたとか。平成二十一年四月、13時間に及ぶ肝切除術を受けました。名医の連携による手術でした。日進月歩の医学に感動しました。

術後2年半 私は生をいただきました。一瞬でも三途の川があるなら私は紛れもなく近くまで行ったのかと思っています、現実に見たものは花もない暗澹たる世界でした。術後、体の自由はなく、歩くことも、立ち上がることも出来ず、字も書けず、箸も持てない日々、生かしていただいた多くの人達の愛と善意に支えられ今生きています。近くのスーパーにもシルパーカーで買い物も楽しむことが出来る様になりました。

第3の人生を不自由ながら生きております。あと何日、神様が与えて下さった命、日々迷うことなくあきらめないで(今の流行語)、SLAで学んだ知識、電話相談で得た人生の知恵が貴重な指針となっています。

SLAの方々からも暖かいお言葉や励ましの電話をいただきました。そんな中に先日順番だからと原稿の依頼があり、一瞬、とても私にはと思いましたがお世話になった方からのお話でしたし、休み続けて役に立たない私を覚えていて下さったことがとてもうれしかったのです。現状報告位ならとお受けいたしました。

楽しかったあの日々、又お目にかかりたいなあ・・・。

※ 会員の名簿順に原稿をお願いしております。

次回は、野村喜美子さんにお願いします。

中部シニアライフアドバイザー協会

専用電話

090-2926-1995

E-Mail

chubusla@yahoo.co.jp

URL

http://sky.geocities.jp/chubusla/